

理事長のご挨拶



学校法人常磐会学園理事長
岡本 和恵

常磐会学園は、建学の精神「和平・知天・創造」に基づき創立当初から今日に至るまで、創意と工夫を積み重ねてまいりました。さらに、持続可能で真に子どもの教育・保育とともにある学園として、今の社会が求めることを付加してきました。昨年度は、将来構想検討会議を立ち上げ、常磐会学園大学と常磐会短期大学の統合に向けて、様々な側面からの議論をしました。本年度は、統合に至るまでの課題をすくいあげて、具体的な形として前に進めてまいります。未来は不透明です。マニュアルはありませんが、柔軟で多様なものの見方や考え方としての常磐会精神が拠りどころです。統合へのプロセスを丁寧に進みながら、共感と共有の輪を広げてまいりたいと思います。

さて、常磐会学園大学は、22年の歴史を刻んでいます。前学長の田端先生は長きにわたり本学を支えていただきました。新学長の大森先生には、これからの学園の発展に向けてご精進くださることを期待しております。

付属茨木高美幼稚園は、第1期工事が済み園児の歓声が響いています。また、学園のこどもセンターも一層地域のニーズに応えるように、子どもたちのための構想を練っています。

これからも「常磐会」だからこそ成し得ること、できることに努力を傾注してまいります。みなさまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶



常磐会学園大学学長
大森 彰

令和4年度から常磐会学園大学の学長に就任致しました。田端前学長のご業績を引き継ぎ、常磐会学園大学の更なる発展に全力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願い致します。

本学の目標は「子どもの心に共感できる、実践力のある保育者・教育者を育てる」ことです。そのために、「子どもに学び、子どもと共に歩む姿勢と力を育てる」授業づくりと、「教職員の教育的愛情に包まれた」大学づくりに努めます。

「国際こども教育学部」として、世界とつながるコミュニケーション力（「語学力」「多文化理解と共生」）の育成及びICT教育の推進を重要な柱として取り組んでいきます。

誇りある常磐会の伝統を大切に、教育への情熱と使命感を携えた人材育成をすること地域社会に貢献する大学をめざします。

全力で取り組む所存でございますので、皆様方のご理解ご支援を切にお願い申し上げます。

退任のご挨拶



常磐会学園大学前学長
田端 矢一郎

平成13年に常磐会学園大学に赴任し、平成28年より6年間学長として勤務をいたし、この度、満期退任することとなりました。ここに、関係各位に厚く御礼申し上げます。

常磐会学園大学では「国際コミュニケーション学部」と「国際幼児児童教育学科」を設立し、その後、「国際こども教育学部」のもとに「国際こども教育学科」として改組され、現在に至っております。

本学は、「教育・保育の常磐会」として広くに認知されるようになり、この間私自身も色々な経験をさせていただきました。この20年間、大学の歴史と共に過ごさせていただいたことに誇りと幸せを感じております。

常磐会学園が、今後益々発展飛躍されますことを祈念申し上げます。

短期大学学長ご挨拶



常磐会短期大学学長
農野 寛治

常磐会学園が掲げる建学の精神は「和平・知天・創造」です。これらは、「和を以て学びあうクラスづくり教育」、「使命感をもって臨む実習教育」、「多彩な創造が生み出される行事教育」として脈々と引き継がれてきたと考えています。ところが引き継がれてきたと考へても感染症の影響により、令和3年度も相当制限される中で大学の運営となりました。特に今春の卒業生には、本当に申し訳ないと思っています。

しかし、「学び」は一生の間に、続けていくものでもあります。ぜひ卒業されても常磐会学園での学生生活を糧に、同窓生や教職員と交流し、今後も「学びの共有地（Commons）」として本学を活用して頂きたいと願っています。



茨木高美幼稚園 一期工事完了!

ついに新園舎（1期工事分）が完成しました!!旧園舎の赤い屋根のトレッドマークを引継ぎ、新園舎は軒裏を高美レッドに!エントランスには高さ10メートルある吹き抜けと屋上までつながる（通称ぐるぐる階段、1階には3歳保育室と職員室、2階には4・5歳の保育室、3階屋上には「かけっこ広場」ができました。

早速子どもたちにお披露目会をしたところ、1番のお気に入りには屋上のかけっこ広場。工事が始まってまもなく園庭が使えなくなり、地域の小学校や公園に散歩に出かける日々だったので、広々としたかけっこ広場では存分に体を動かして遊びました!!

2期工事後の令和5年4月からは、幼稚園型認定こども園として新たなスタートを切ります。

新園舎での保育に夢が膨らむばかりです。



常磐会学園大学

トピックス

常磐会学園と平野区が協定を結び、まちづくり、地域福祉、子育て支援、生涯学習、地域貢献等の分野で人的交流や知的・物的資源の相互活用を進めて今年13年目になります。今年もコロナ禍で数々のイベントが影響を受け、中止や縮小した規模で進められているなか、本学の教員や学生が運営する「平野区 中学生 小学生 英語スピーチコンテスト」は昨年に続き、今年も実施され、11月27日(土)区役所で表彰式が行われました。

昨年に引き続き、オンラインによる募集をし、スピーチ動画を審査する方法で行いました。昨年の34名を大幅に超える応募がありました。特に、中学生の応募者が大幅に増えました。

27日の表彰式では、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部でそれぞれ3名ずつが表彰されました。本学学生が司会進行や英語の模擬授業を披露し、アレックスM・林先生が「当日までに取り組んできた皆さんの練習と努力によって、ネイティブスピーカーに近い発音のレベルになっています。この調子で、今日が最後ではなく、今日から英語スピーチを始めようという気持ちで Keep on studying」とう審査講評とアドバイスを送りました。



常磐会短期大学

トピックス

2021年度もコロナ禍による影響はありましたが、授業では対面授業を中心に、時にはオンライン授業も活用しながら、また、実習も保育現場の力添えをいただきながら行うなど、学生たちの学びの機会を第一に考えるという教職員の願いを込めて実施をしてきました。常磐会短期大学の伝統でもある行事にも取り組みました。大学祭では、昨年度のリモートで行った経験も活かしつつ、常磐会学園大学の皆さんと合同で企画を立て、対面とリモートを組み合わせた形で学園祭(文化祭)を実施しました。プログラムの中にはクラス企画として壁面製作や動画を作成したものを発表したり、クラブやゼミ、有志によるパフォーマンスを披露したりするものがあり、おおいに盛り上がりしました。また、スポーツフェスを学年別で実施しました。クラス対抗ドッジボールや「台風の目」の競技を行い、クラスで協力し合いながら力を出し合って喜び合い、みんなでエビカニクスを踊って一体感を楽しむなど、充実した二日を過ごしました。一緒に過ごす機会が少なくからこそ、クラスやみんなで楽しむことができたこの経験や喜びを忘れないでいてほしいと思います。



『ご協力いただいた卒業生調査』

2021年8月、大学・短期大学基準協会の「短期大学卒業生調査」を実施いたしました。今回は2016年度、2018年度、2020年度の卒業生の方々を対象でした。多くの回答を寄せていただき、ご協力いただいて誠にありがとうございました。質問に「あなたは自分が卒業した短期大学を親しい友人や後輩、親せきにすすめますか」の問いがあり、「すすめられる」と回答してくださった方が53.7%と、全体平均の47.3%を上回る結果になったことを嬉しく思っています。これからもそんな常磐会短期大学であり続けられるよう邁進してまいります。

常磐会短期大学付属 常磐会幼稚園

トピックス

一人一人の多様性を発揮できる場に

コロナ禍の中での日々の保育。行政の対応に本園での基本ベースをつくることで、難しさもありますが、ずいぶん保育がしやすくなりました。「子どものまなざしの向こうにあるもの」を研究テーマに日々保育をすすめています。今年度はあわせて「子どもが主体的に過ごすには先生たちも主体的に」という考えのもとそれぞれが研究したいことをテーマに考えました。一人一人の多様性が発揮できる職場は、学び合う力が育ち、子どもたち一人一人がいきいきと活動できる場になると考え保育をおこなっていきます。



常磐会短期大学付属 いずみがおか幼稚園

トピックス

いずみがおか幼稚園50歳のお誕生日おめでとう！

令和3年10月30日土曜日。

さわやかな秋晴れの下、子どもたちと先生たちで創立50周年のお祝いをしました。当日はコロナ禍ということもあり限られた人数でのお祝いになりましたが、子どもたちの元気な歌声、笑顔いっぱいひときとなり、穏やかな雰囲気幼稚園を包みました。お招きできなかった地域のみなさんも、会の中で飛ばした風船を遠くからご覧いただくことができました。おたんじょうびおめでとうございました。す」の掲示に足を止めお祝いのお言葉をいただくこともありました。

この50周年を契機として、新しい時代に向かい新たな一歩を踏み出したいずみがおか幼稚園ですが、地域の方々と共に、今も昔も変わらぬ思いで子どもたちを真ん中に教職員一同、心を合わせて歩んでいきます。



学園祭(文化祭)

10月23日、短期大学は「百花斉放」、学園大学は「金蘭之契」のテーマを掲げ、合同学園祭(文化祭)を開催しました。オンライン配信と大アリーナの入場者を限定したハイブリッド開催となり、合同企画「千羽鶴を折ろう〜コロナ終息を願って〜」からスタートしました。

短大生は、クラス毎に「壁面製作」に挑み、制限時間90分以内に完成させました。合同企画「3分動画」はクラスや研究室の個性が生かされたユニークな内容でした。「有志による発表」では、学生や教職員によるダンス、歌、弾き語り、人形劇、吹奏楽コンサートが続きました。「書道パフォーマンス」は、短大・学園大の合同チームが、躍動感あるパフォーマンスを披露してくれました。最後は、「エビカニクス」ダンスで盛り上がり、エンディングとなりました。

開催に至るまでには多くのハードルがありました。短大と学園大が「心と力をつに合わせた」思い出に残る合同学園祭(文化祭)が実現しました。



大学ディベート大会

コロナ禍の継続で、昨年度に続き、制限の中で何ができるかを模索し実行した1年でした。基礎演習Ⅱでは、より工夫したディベート大会を各研究室で実施しました。特に2年生では昨年の経験を活かし、学生自らが企画・進行し、論議する中でまとまりを強めることができました。また、各自興味ある分野のパワーポイントでのプレゼンテーションを通してコミュニケーションを深め、3年生以降の発表力向上と論文作成に繋がりました。この2年間のいろいろな取り組みが、次年度への布石になるよう期待しています。



進路支援センター

卒業生の来室や電話、メールによる相談が年々増え、2021年度は約40名から相談があり、新しい職場へと繋ぐことができています。既卒者への求人は年齢の幅が広く、働き方も正規雇用に限らずパート・アルバイト・短時間勤務も可能です。小さな子どもさんがおられる方は、企業主導型保育園や同じ法人の園に預けて働くこともできるようになってきました。資格を活かして働きたいと考えておられる方は「相談ください」。また、転職や再就職の相談に限らず元気に頑張っている姿を見せに来てくれる卒業生から園での様子などを聞くことも職員には嬉しいことです。お気軽にお越しください。平日9〜17時・土曜9〜13時まで開室しています。行事等で閉室する場合がありますので詳細はHPをご覧ください。

教員免許状更新講習について

2021年度の教員免許状更新講習は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、予定していた対面での講習を、オンライン配信に変更しました。対面での受講を楽しみにしていただいていた方には大変ご迷惑をおかけしましたが、オンラインに切り替えたことで、講習を無事に終了することができました。

教員免許状更新講習については、文部科学省より廃止の方針が示され、免許状更新講習に代わる「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた講習が検討されています。本学園の教員免許状更新講習も2021年度の講習を以て終了し、国の動向を踏まえ、新たな講習への参加を検討していきたいと考えております。今後の方針については、大学・短大のHPにおいてお知らせします。ご確認をよろしくお願いいたします。

『最良』を求めて

春、工事着工により園庭がなくなり緊急事態宣言で近隣公園も利用できない日が続き、思いきり走ったり季節を楽しんだりする経験のために宣言解除後、万博公園遠足を決定しました。各家庭の意向を尊重する選択肢(いつも通り職員が引率で公共機関利用による移動か保護者送迎による現地集合か)の提示ではほぼ全員が参加しました。3年間、今までの形を変え子どもにとつて必要だったことを実現してきて、共に過ごしてきた年長児は変わりなく育ちを見せています。

冬、感染拡大により遠足延期を発表した日、「先生達は子どもにとつて最良を考えてくれるから大丈夫」という、園を信頼する複数の保護者の声に励まされました。

これからも丁寧な発信を心がけ、子どもにとつての「最良」を探していきます。



常磐会短期大学付属 茨木高美幼稚園

トピックス

常磐会学園 こどもセンター

トピックス

新型コロナウイルス感染症の状況で、閉館することはなくなりましたが、今までは違った形での事業を行ってきました。

「つどいの広場ときわつこ」は、午前の部と午後の部に分けて、事前予約制にして、12組の参加にしています。緊急事態宣言が出されたときは、閉館し電話相談のみを受けていましたが、今年は、まん延防止措置が出て、感染対策をして、子どもさんとおうちの方を受け入れることができました。感染拡大の時期は、なかなか外に出かけることができないからと、こどもセンターへ来るのを楽しみにしてくださったり、子どもたちものびのびと遊んだりできて、こんな時こそ、子育て支援の場が必要なのだと、感じました。

早く感染が落ち着いて、外遊びもできるようにと願っています。



2022オープンキャンパス・入試日程

※諸事情により実施を中止または変更する場合があります。

常磐会短期大学

■オープンキャンパス

第1回	2022年3月26日(土)	第8回	2022年9月10日(土)
第2回	2022年5月28日(土)	第9回	2022年12月17日(土)
第3回	2022年6月12日(日)		
第4回	2022年6月25日(土)		
第5回	2022年7月24日(日)		
第6回	2022年8月7日(日)		
第7回	2022年8月20日(土)		



■入試日程

選抜区分	試験日
総合型選抜 [I期]	2022年10月8日(土)
総合型選抜 [II期]	2022年11月5日(土)
総合型選抜 [III期]	2023年1月14日(土)
学校推薦型選抜 [指定校制]	2022年11月19日(土)
学校推薦型選抜 [公募制]	2022年12月10日(土)
一般選抜	2023年2月4日(土)
特別選抜 [社会人]	2023年2月4日(土)

<https://www.tokiwakai.ac.jp/> ※詳細はWebサイトをご覧ください。

常磐会学園大学

■オープンキャンパス

第1回	2022年3月19日(土)	第7回	2022年7月24日(日)
第2回	2022年4月24日(日)	第8回	2022年8月11日(木・祝)
第3回	2022年5月15日(日)	第9回	2022年8月28日(日)
第4回	2022年6月4日(土)	第10回	2022年9月18日(日)
第5回	2022年6月26日(日)	第11回	2022年10月16日(日)
第6回	2022年7月16日(土)	第12回	2022年11月20日(日)
		第13回	2022年12月10日(土)

※総合型選抜相談会 2022年7月9日(土)

■入試日程

入試区分	試験日
総合型選抜	前期 2022年9月10日(土)
	中期 2022年10月1日(土)
	後期 2022年10月23日(日)
学校推薦型選抜(指定校) (公募)	前期 2022年11月5日(土)
	中期 2022年11月26日(土)
	後期 2022年12月17日(土)
一般選抜	前期 2023年1月28日(土)
	2023年1月29日(日)3年次(一般)
	後期 2023年3月9日(木)
3年次(指定校・学園内) 社会人・3年次(一般後期)	前期 2022年11月5日(土)
	後期 2023年3月9日(木)

<https://www.sftokiwakai.ac.jp/> ※詳細はWebサイトをご覧ください。

常磐会短期大学付属幼稚園出身生入学金免除制度(大学・短大) TOKIWAスカラシップ制度<TSS>(短大)がスタート

常磐会学園大学・常磐会短期大学では、2022年度入試で、同窓生家族入学金免除制度に加え、常磐会短期大学付属幼稚園出身生入学金免除制度を新たに導入いたしました。また、常磐会短期大学では、学びつづける学生の支援を目的に、最大で在学期間の授業料が全額免除される独自の授業料免除制度、「TOKIWAスカラシップ制度<TSS>」も2022年度入試で導入しました。詳細は常磐会学園大学・常磐会短期大学の学生募集要項、公式Webサイトでご確認ください。



就任教員

常磐会短期大学	2022年4月1日付	常磐会幼稚園	いずみがおか幼稚園
講師	佐藤 剛	保育教諭	濱本 雅
		保育教諭	由井 春日果
		保育教諭	川村 葉月
		保育教諭	曾野 夢華

退職教員

常磐会短期大学	2022年3月31日付	常磐会学園大学	いずみがおか幼稚園
教授	田端 矢一郎	教授	保育教諭
教授	美濃 守隆	教授	大石 愛
准教授	石岡 正通	教授	中川 浩樹
	田村 みどり	教授	藤井 朱美
		教授	横手 可奈
		教授	角田 真理
		教授	細川 祐海
		教授	茨木 高美幼稚園

人事通信

II 教員の部 II

西村 陽有
池田 藤夫
監事

藤林 道子
平林 宏朗
奥 始

渡邊 芳子
田淵 創
水郡 理恵
北野 圭子
農野 寛治
大森 彰

理事
岡本 和恵
理事長

役員